

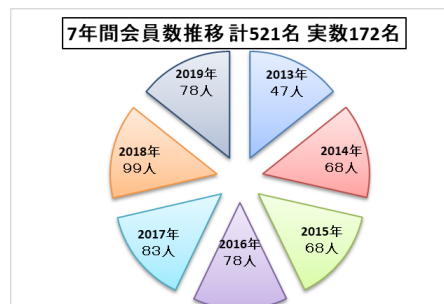
# 社会参加 自分探しの旅



季節は巡り春✿ ※左写真:川辺悟史さん(広報担当)  
心躍る季節がやってきました。が、新型ウィルスの猛威爆発で僕たちの生活は一変、気分は桜どころではありません。応援団会議も状況見ながらの判断が問われ、オリンピックと同じで開催延期模様です。

## 7年間のご厚情に御礼申し上げます

来月5月をもちまして、七里が丘子ども若者支援研究所が主催してきました応援団会議ー横須賀・逗子・鎌倉の活動を終えていきます。毎月一回の交流の場、応援団会議をコツコツと積み上げてきたことを誇りに思います。会員と支援者の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。右の図でまとめましたが、会費や寄付で支援くださいました会員実数は172名でした。内訳は相談会員76名、支援会員96名。総数は延べ520名を数えました。7年間の会計報告は次号でまとめます。



## 定例会100回余 交流イベント44回 子ども若者の課題に向き合う

改めて思う応援団活動は、子ども若者を取り巻く不登校や社会的ひきこもり、背景にある発達障害や人間関係を社会課題と捉え、子ども若者と保護者の自己責任に追い込まない環境づくりをもとめる活動でした。市民とNPO/団体と行政(教育・福祉・議員等)との横につながるフラットで対等な交流を、応援団会議は求め歩んできました。

いじめでは篠原宏明・真紀さんご夫妻に、不登校は西野博之さんや子ども保護者に、社会的ひきこもりは岡本圭太・林恭子さんに、発達障がい生き辛さは新平鎮博・岩室紳也・中村賢龍さんに、総合的には加藤彰彦・島根三枝子・松尾崇鎌倉市長さんにお力をいただき、講演会・研修会を16回開催しました。特に2017年5月4日、実行委60余名の力で開催しました「三浦半島いじめ不登校解決市民サミット」は応援団会議の活動のメルクマール。ホリケンさん&涌井貴暁・安川有里さんにも感謝！そしてバトンが繋がります…

## 胎動♥ 次世代龍崎 & 新舩さん ベテラン橋本さん & Largo 現役ママ

応援団から次世代 & ママが Social Movement(社会運動)の開発に取り組み始めています。逗子、ひきこもり発信プロジェクト新舩秀浩さんとゆずり葉親の会橋本由美子さん。新舩さん



は先月20日(左写真)も自ら企画運営、アットホームな小規模講演会を開催し、個人誌“すぐそこにあること”で自己解説と社会評論を75号発行中です。横須賀、龍崎明信さんはブカツレット(ロボコン)4号発行し、応援団会議の主催者として2月から子どもフリースペースを併設し盛況。さらに「次期子ども若者応援団事業構想」を提起し5月スタート予定です。鎌倉、フリースクール Largo2年目へ水沢麻美 & 小林由紀・丸山真美さん等は県市と共に奮闘

【新応援団はメーリングリスト募集中】 ML管理者(龍崎)アドレス [chroma74@gmail.com](mailto:chroma74@gmail.com)

## コラム風 時間は人の固有性 行動し自分に出会う子ども若者



横浜地方裁判所

3月16日(月)僕は横浜象の鼻パークで津久井やまゆり園殺傷事件の傍聴券を待ちました。昨年は東京地裁(練馬区、父親が息子を殺害事件判決)に出向きました。この時代性と共に存在する思いです。倫理道徳観、ステレオタイプ(既成概念)で理解できない現実があります。

この3月僕はこんなことを考えていました。現代社会は時間と場で区切り、人は適応し社会を担うことを求められる。彼女らの個別、名前は要らない。あなたに代わる人が何時でもいる社会がある。総称は役割と賃金、固有性は消される。違和感を持つ人は立ち止まり、家族や社会に“自己の存在ニ実像”をさらすしかありません。不登校や社会的ひきこもりの子ども若者は“自己の実像”承認を求め、学校や社会に尊厳を意識V.S.無意識に主張し家にとじこもります、結果的に。整然と並んだ机に大人しく着席する自分、人の顔色を見て波風立てずに振る舞う自分。いわゆる“社会性”、しかし個の喪失を促す“柔軟”や“適応”を体内化する違和感を抱く自分、生理的“嘔吐”を感じ始めたら、とりあえずひきこもるのが人なのです。教育や労働に従順なロボット化を要求され、嫌悪し拒否する自分と出会う。しかし社会は教育と労働・納税の義務で「意欲や生産性・貨幣価値のない」人間と子ども若者を断罪。さらに「定型発達」(誰が?)と比べ発達障がいや身体精神障がいは、事件と同様「生産性がない」と…殺害？

### 現代の大切な事業 障がい者と共に生きる仕事の未来

あえて「障がい者に生産性はある」と僕は宣言。現代社会は人間(動物も)を差別することをやめ始めている。そして法律を作り市民は約束した。障がい者と共に生きる未来へ、だから応援する。同情や憐憫から解放され、横並びで環境調整と共にある社会でと。まだ道半ば、いや始まったばかりだ。と言うのも、川崎市で医療的配慮の障がい児童が学区小学校入学を裁判(3/20)で拒否、教育権が奪われた。残念だが、教育と福祉は未来ある一大事業。教育も福祉も労働環境と関連事業は多岐に地域に広がり始めた。特に閉鎖的な障害者施設から開放的で“自立(僕は”共立“を使いたい)”支援型の地域施設への成長は目覚ましい。

例えば藤沢市、知人の「ぐるんとびー(菅原健介さん等)」やおでんの会:清水紀人さん事務局講演でお話を頂いた「KK あおいけあ(加藤忠相さん等)」は先進的な取り組みをしている。それは応援団、たすき塾(高島智子さん)そしてLargoも同じ地平、地域の中にある！です。21世紀、福祉・教育・医療は命と共に生きる夢ある事業、Social Work(ソーシャルワーク)と考える。

さて、僕は引き続き研究所で社会活動を展開し、SchoolSocialWorkerとして鎌倉市で今少し仕事する。応援する Largo で1月タッキー講座「子どもファースト」開始、but3月ウィルスで中止…知患者ママスタッフと小林少年(少年探偵団?)は映像発信を発案し収録、人生初体験の僕、基本は『立ち止まる勇気』なのだ！ウィルス対策も同じ💜 (滝田)



Largo タッキー講座

**4月予定** 全くの白紙(笑笑) 予定では…逗子19日(日)新舂プロジェクトと橋本ゆずり葉の会、横須賀応援団フリスペ26日(日)ゲスト asamicro さん、鎌倉 Largo は鎌倉居場所マップ完成へ、屋外活動を模索中。○研究所 個別相談(月/木)、お気軽にご連絡をください。

【発行編集:滝田衛】鎌倉市七里ガ浜東2-31-12 携帯:09072124055

●メール: [qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp](mailto:qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp) ●研究所 HP: <http://shichirigaoka-lab.jimdo.com/>

●応援団: <https://www.facebook.com/kodomowakamono.ouendan/>